

第三期中期目標の策定に向けて ～ 第二期中期目標期間における実績評価 ～

第二期中期目標項目	年度評価			
	27年度 評価案	26年度 評価	25年度 評価	
1 都民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとすべき措置				
(1) 高齢者の特性に配慮した医療の確立と提供				
ア 三つの重点医療の提供体制の充実				
(ア) 血管病医療	(1)	A	A	S
(イ) 高齢者がん医療	(2)	A	A	A
(ウ) 認知症医療	(3)	A	A	A
イ 急性期医療の取組(入退院支援の強化)	(4)	A	A	A
ウ 救急医療の充実	(5)	S	S	A
エ 地域連携の推進	(6)	B	B	B
オ 安心かつ信頼できる質の高い医療の提供				
(ア) より質の高い医療の提供	(7)	A	B	B
(イ) 医療安全対策の徹底	(8)	B	B	B
カ 患者中心の医療の実践・患者サービスの向上	(9)	B	B	B
(2) 高齢者の健康の維持・増進と活力の向上を目指す研究				
ア トランスレーショナルリサーチの推進(医療と研究の連携)	(10)	A	A	A
イ 高齢者に特有な疾患と生活機能障害を克服するための研究	(11)	A	A	A
ウ 活気ある地域社会を支え、長寿を目指す研究				
(ア) 安心して生活するための社会環境づくりへの貢献	(12)	B	A	B
(イ) 災害時における高齢者への支援				
エ 先進的な老化研究の展開・老年学研究におけるリーダーシップの発揮	(13)	S	A	A
オ 研究成果・知的財産の活用	(14)	B	B	B
(3) 高齢者の医療と介護を支える専門人材の育成				
ア センター職員の確保・育成				
イ 次代を担う医療従事者及び研究者の養成	(15)	B	B	B
ウ 地域の医療・介護を支える人材の育成				
2 業務運営の改善及び効率化に関する事項				
(1) 地方独立行政法人の特性を活かした業務の改善・効率化	(16)	A	B	A
(2) 適切なセンター運営を行うための体制の強化	(17)	B	B	B
3 財務内容の改善に関する事項				
(1) 収入の確保	(18)	A	A	A
(2) コスト管理の体制強化	(19)	A	A	B
9 その他業務運営に関する重要事項(センター運営におけるリスク管理の強化)	(20)	B	B	B

～業務実績(例)～

医療(項目1～項目9)

- 血管病医療について、最新機器の活用と高度な技術による低侵襲で効果的な治療を着実に実施
- 高齢者がん医療について、低侵襲な鑑別診断や治療の実施件数の増加及び適応の拡大
- 認知症医療における、MRI・SPECT・PET等の検査による早期診断及び診断精度の向上
- 都の認知症支援推進センターを設置し、研修等を実施し、認知症医療の向上に貢献
- 救急受入体制の強化や地域医療機関との連携等により目標を大きく上回る救急患者を受入  
救急患者受入数 ㉗ 10,102人 ㉖ 9,200人 ㉕ 7,974人

研究(項目10～項目14)

- テロメア長の測定技術を利用した「すい臓がん悪性度診断法」の確立
- 乳がんホルモン療法への適応について新たな判定基準を確立
- 糖鎖構造の異常が先天性筋ジストロフィー症、網膜色素変性症の原因となることを解明
- 自記式認知症チェックリストの開発及び普及
- 長期縦断研究において、虚弱予防のための取組が介護予防や健康寿命の延伸にもたらす効果を検証

人材育成(項目15)

- 高齢者医療に関するセミナーの開催や連携大学院からの大学院生の受入等、次代を担う人材の育成に貢献

業務運営等(項目16～項目20)

- 新規入院患者の確保や新たな施設基準の取得等による収入の確保  
病床利用率 ㉗ 86.2% ㉖ 80.8% ㉕ 79.7%
- 地域と連携した適切な退院支援により、平均在院日数の短縮  
平均在院日数 ㉗ 12.3日 ㉖ 13.0日 ㉕ 15.8日
- 後発医薬品の採用促進やベンチマークシステムの導入などによる経費の縮減